

製品名:	OP-S懸濁液ノンドライ (OP-S NONDRY)	ページ数:	1/8
最終改訂日:	2019-04-18	印刷日付:	2019-04-18
文書番号:	M0185	安全データシート整理番号:	JP-JA/8.1

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名: OP-S懸濁液ノンドライ (OP-S NONDRY)
Batch No. ≤8183-01
カタログ番号 40700064, 40700065

容器サイズ: 1; 5 l

推奨用途及び使用上の制限

用途: 材料観察試料標本の研磨剤。

安全データシートの供給者の詳細

供給者: ストルアス社 (Struers ApS)
Pederstrupvej 84
DK-2750 Ballerup
Tel: +45 44 600 800

国内供給者: 株式会社ストルアス (*)
〒141-0022 東京都品川区東五反田3-14-13
高輪ミュージビル1F
ソリューションセンター
Tel: 03-5488-6207
Fax: 03-5793-1081

安全性データシートのオーサリングを担当。
この安全性データシートの内容に対する質問の宛先はこちら :
struers@struers.dk

緊急連絡電話番号

公益財団法人 日本中毒情報センター (JPIC): 大阪中毒110番 (365日 24時間対応) 072-727-2499, つくば中毒110番 (365日 9時 ~ 21時対応) 029-852-9999.

03-5488-6207 (株式会社ストルアス) (*)
(営業時間のみ)

安全データシート

製品名:	OP-S懸濁液ノンドライ (OP-S NONDRY)	ページ数:	2/8
最終改訂日:	2019-04-18	印刷日付:	2019-04-18
文書番号:	M0185	安全データシート整理番号:	JP-JA/8.1

2 危険有害性の要約

化学物質 / 混合物の分類

JIS Z 7253:2012に基づき分類: 特定標的臓器毒性 (反復暴露) 区分2

ラベル要素



警告

内容物:	エチレングリコール 二酸化ケイ素
H373K	長期にわたる暴露、または反復暴露により臓器 (腎臓) の障害を引き起こすおそれがある。
P260	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P314	気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
P501	内容物/容器は市町村の規制に従って廃棄すること。

他の危険有害性

以下を含む 下記の混合物 : 5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン [EC no. 247-500-7]および2-メチル-2H-イソチアゾール-3-オン [EC no. 220-239-6] (3:1). アレルギー反応を起こすことがある。

PBT/vPvB: 使用可能な情報は無い。

3 組成及び成分情報

混合物

本製品は下記を含む : シリカ 及び 水.

JIS Z 7253:2012に基づき分類:

%:	CAS番号	EC 番号:	"官報公示整理 番号" / "化審 法番号":	化学名:	危険有害性 ID	注:
<25	107-21-1	203-473-3	2-230	エチレングリコール	急性毒性 (経口) 区分4 特定標的臓器毒性 (反復 暴露) 区分2K	
10-15	7631-86-9	231-545-4	1-548	二酸化ケイ素	-	
<0.0015	55965-84-9		9-378	下記の混合物 : 5-クロロ-2-メ チル-4-イソチアゾリン-3-オン [EC no. 247-500-7]および2-メ チル-2H-イソチアゾール-3-オ ン [EC no. 220-239-6] (3:1)	急性毒性 (吸入) 区分3 急性毒性 (経皮) 区分3 急性毒性 (経口) 区分3 皮膚腐食性区分1B 皮膚感作性 区分1 水生環境有害性 (急性) 区分1 水生環境有害性 (長期 間) 区分1	

安全データシート

製品名:	OP-S懸濁液ノンドライ (OP-S NONDRY)	ページ数:	3/8
最終改訂日:	2019-04-18	印刷日付:	2019-04-18
文書番号:	M0185	安全データシート整理番号:	JP-JA/8.1

4 応急措置

応急措置の説明

吸入: 新鮮な空気のある場所に移し、安静を保つ。

皮膚への接着: 汚染された衣服を脱がせ、水で皮膚を十分にすすぐ。

眼に入った場合: すぐに大量の水で15分以上、洗い流すこと。コンタクトレンズを外し、まぶたを大きく開く。刺激が継続する場合、医療処置を受け、これらの指示書を持参する。

経口摂取: 直ちに口をすすぎ、大量の水を飲む。被災者を観察下に置く。気分がすぐれない場合: これらの指示を持参して、病院に搬送する。無理に吐かせてはならない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状 / 影響: 健康に関する影響と症状の詳細については項目11を参照してください。

医師に対する特別な注意事項

医学的措置 / 治療: 症状を治療する。

5 火災時の措置

消火剤

消火剤: 周辺物質に適切な火災消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤: 対策は特にない。

特有の危険有害性

特殊な危険有害性: 火災時には、毒性ガスが生成されることがある。

特有の消火方法及び消火を行う者の保護

消火を行う者の保護具: 消火時の呼吸保護の選択: 職場で指定された一般的火災対策に従う。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

保護具 皮膚及び目への接触を避ける。保護措置に関しては項目8を参照。

応急措置: 推奨事項は特にない。保護措置に関しては項目8を参照。

環境に対する注意事項

環境対策: 水路または地面への放出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法: 砂、おが屑または他の不燃材で漏洩をせき止め、吸収する。

その他の節の参照

参考資料: 保護措置に関しては項目8を参照。廃棄物処理に関しては項目13を参照。

安全データシート

製品名:	OP-S懸濁液ノンドライ (OP-S NONDRY)	ページ数:	4/8
最終改訂日:	2019-04-18	印刷日付:	2019-04-18
文書番号:	M0185	安全データシート整理番号:	JP-JA/8.1

7 取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項

安全な取扱いに関する勧告: 皮膚及び目への接触を避ける。化学物質の適切な取扱いと衛生習慣を守る。

技術的措置: 作業時は、接触を最小限に抑えなければならない。

技術対策: 局所排気を推奨する。

混触禁止物質を含む安全な保管条件

安全な貯蔵に関する技術的措置: 特別な注意事項なし

貯蔵状態: 厳重に密閉した元の容器で貯蔵する。室温で保存してください。

具体的な最終用途

具体的な用途: 使用可能な情報は無い。

8 ばく露防止及び保護措置

管理上のパラメータ

職業曝露制限値は指定されていない。

曝露防止

設備対策を: 局所排気を推奨する。適切な換気を供給する。

人体の保護: 個人用保護具は、各国の関連規格に準拠し、個人用保護具供給者と相談して選定しなくてはならない。

呼吸用保護具: 換気が不適切であり作業が短時間の場合は、適切な呼吸装置を使用する。呼吸装置は、タイプ A2/P2 の組み合わせフィルターと共に使用する。

手の保護具: 接触のリスク: 保護手袋を着用する。ニトリル製手袋を推奨する。ただし、液体が手袋に浸透することがある点に注意する。頻繁に交換することが望ましい。

眼の保護具: 飛散リスク: ゴーグル/顔面シールドを着用する。

皮膚及び身体の保護具: 接触する場合は、エプロンまたは保護衣を着用する。

環境曝露管理: 該当なし。

安全データシート

製品名: OP-S懸濁液ノンドライ (OP-S NONDRY)
最終改訂日: 2019-04-18
文書番号: M0185

ページ数: 5/8
印刷日付: 2019-04-18
安全データシート整理番号: JP-JA/8.1

9 物理的及び化学的性質

基本的な物理化学的特性に関する情報

形態: 液体
臭い: 無臭
臭気閾値: 該当なし。
pH: 9-10
融点: 0°C
沸点: 100°C
引火点: 関係がない。
蒸発速度: 該当なし。
可燃性 (固体、気体): 該当なし。
爆発性: 関係がない。
蒸気圧: 該当なし。
蒸気密度: 該当なし。
比重: 1-1.2
溶解性: 水と混和。
分配係数 (n-オクタノール/水): 該当なし。
自然発火温度 (°C): 該当なし。
分解温度 (°C): 該当なし。
粘度: 該当なし。
爆発性: 該当なし。
酸化特性: 該当なし。

その他の情報

他のデータ: 揮発性有機化合物 (VOC) : 250 g/l (計算)

安全データシート

製品名:	OP-S懸濁液ノンドライ (OP-S NONDRY)	ページ数:	6/8
最終改訂日:	2019-04-18	印刷日付:	2019-04-18
文書番号:	M0185	安全データシート整理番号:	JP-JA/8.1

10 安定性及び反応性

反応性

反応性: 通常の条件下ではなし。

化学的安定性

安定性: 通常の温度条件の下で安定。

危険有害反応可能性

危険有害な反応: 通常の条件下ではなし。

避けるべき条件

避けるべき状態/物質: 熱、火花及び直火から隔離する。

混触危険物質

不適合物質: 強酸化物質、強酸及び強塩基。

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物: 火災時には、毒性ガスが生成されることがある。

11 有害性情報

毒物学的影響に関する情報

急性毒性 (経口): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

急性毒性 (経皮): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

急性毒性 (吸入): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

皮膚腐食性/刺激性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

眼に対する重篤な損傷性
又は眼刺激性 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

呼吸器または皮膚感作性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

生殖細胞変異原性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

発がん性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

生殖毒性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

特定標的臓器毒性 (単回曝露): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

特定標的臓器毒性 (反復曝露): 長期にわたる暴露、または反復暴露により臓器 (腎臓) の障害を引き起こすおそれがある。

吸引性呼吸器有害性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

吸入した場合 通常の室温では関係がない。加熱すると、有害蒸気が生成されることがある。

皮膚への接触: 長期接触は、発赤及び刺激を起こすことがある。皮膚に浸透することがある成分を含有する。

眼に入った場合: 飛沫は刺激を生じることがある。

経口摂取: 中毒、頭痛、めまい、胃痛、痙攣、及び重度の場合には意識喪失、急性腎不全、呼吸不全及び心不全を起こすことがある。成人致死量: 約 50-100 ml (エタノール)。

安全データシート

製品名:	OP-S懸濁液ノンドライ (OP-S NONDRY)	ページ数:	7/8
最終改訂日:	2019-04-18	印刷日付:	2019-04-18
文書番号:	M0185	安全データシート整理番号:	JP-JA/8.1

12 環境影響情報

生態毒性

生態毒性: 製品は環境に危険有害性があるとされていない。

残留性・分解性

分解性: 製品の分解性は表明されていない。

生体蓄積性

生物濃縮性: 生物濃縮性に関する使用可能なデータはない。

土壤中の移動性

移動性: 使用可能なデータはない。

PBTおよびvPvB評価の結果

PBT/vPvB: 使用可能な情報はない。

その他の有害影響

その他の有害影響: 使用可能な情報はない。

13 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物: 廃棄物及び残留物は、現地当局の要件に従い廃棄する。

汚染容器及び包装: 廃棄物及び残留物は、現地当局の要件に従い廃棄する。

14 輸送上の注意

製品は、危険物輸送に関する国際規制 (IMDG、IATA) で網羅されていない。

国連番号

UN 番号: -

国連輸送名

品名: -

輸送における危険有害性クラス

国連分類: -

容器等級

PG: -

環境危険有害性

海洋汚染物質: -

環境有害物質、固体: -

知る必要がある又は従う必要がある特別の安全対策

特別な注意事項: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。

マルポール条約73/78の附属書IIおよびIBCコードによるばら積輸送

バルク輸送: 該当しない。

安全データシート

製品名:	OP-S懸濁液ノンドライ (OP-S NONDRY)	ページ数:	8/8
最終改訂日:	2019-04-18	印刷日付:	2019-04-18
文書番号:	M0185	安全データシート整理番号:	JP-JA/8.1

15 適用法令

物質 / 混合物に特有の安全、健康、環境法規

特別規定 労働安全衛生法: エチレングリコール、二酸化ケイ素

国家規制: 化審法
JIS Z 7252:2014. GHS に基づく化学物質等の分類方法.
JIS Z 7253:2012. GHS に基づく化学品の危険有害性情報の 伝達方法 - ラベル, 作業場内の表示及び 安全データシート (SDS)

16 その他の情報

使用者は、正しい作業手順について指示され、これらの指示書の内容に精通していなければならない。

以下の項目は、改定または新たな記述を含む。: 1.

(*)は、前バージョンからの変更を示す。

DHIによって認可。

Allan Vorup

その他の情報: GHSによる分類:
計算方法。

本データシートの情報は当社の最新のデータであり、本製品が規定された条件下で、かつ、パッケージおよび/または技術手引文書に指定された適用方法に従って使用されれば、信頼できるデータである。本製品を他の製品や他のプロセスと組み合わせて使用するなど、規定外の使用をした場合はその使用者が責任を負うものとする。

DHI-環境毒物学部によって制作された文書、DHI現住所: Agern Allé 5、DK-2970 Hørsholm、デンマーク。
HP: www.dhigroup.com.